

## 令和4年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	市民ネットワーク
議 員 名	中重 伸夫、分野 達見、岡田 直己
議員派遣先名	一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン（宮城県石巻市） 石巻市，国会議事堂

### 派遣費用

科 目	支出額	摘 要
調査費	282,950 円	旅費
調査費	33,000 円	視察参加費
調査費	3,336 円	視察先への土産代
合 計		319,286 円

### 1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

本市の漁業従事者については、担い手不足などが深刻な問題となっているが、石巻市では一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンと連携しながら、先進的な活動を行っている。また、本市の防災活動については、各地域での防災意識の濃淡に課題があるが、石巻市では、平成23年に東日本大震災で甚大な被害を受けた経験を活かし、地域一体となった先進的な活動を展開していることから、それぞれの活動内容を調査・研究するため、現地視察を行った。加えて、本市が抱えている課題解決に向けて、国会を訪問し要望活動を行った。

### 2 実施概要（1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン （宮城県石巻市）
令和4年11月08日 15:00～17:00	担 当 部 局	フィッシャーマン・ジャパン事務局

	<p><b>【報告内容】</b></p> <p>1. 事業（社団法人）立ち上げについて</p> <p>全国的に漁業従事者が減少傾向にある中、石巻市においても後継者不足などに悩まされていたことに加え、消費者に届くまで流通全体に目配りする団体がいないことから、<u>漁師のイメージを変え、水産業全体を盛り上げる必要性がある</u>と感じ、2014年7月に一般社団法人を設立したと説明があった。</p>
--	--

## 2. 漁獲量について

震災前の2010年には12.8万トンあった水揚げ量が、震災後の2011年には2.7万トンまで減少したが、以降は増加傾向にあり2020年には10.1万トンまで増加し、東北1位、全国4位の水揚量となった。

## 3. 活動理念・ビジョンについて

『カッコよくて、稼げて、革新的な』**新3K**を創り出し、そのトップランナーになることを活動理念としており、多様な能力を持つ水産事業従事者の新しい職種「フィッシャーマン」を2024年までに1000人増やすビジョンを掲げ、既に目標に近いところまできている。

## 4. 担い手育成について

2015年12月より担い手センター事業『TRITON PROJECT』を展開している。

### ◆事業の4本柱

#### ①新人漁師が暮らす<TRITON BASE>

・浜にある古民家等を漁師専用シェアハウスにリフォームし、暮らしのサポートを行っている。

#### ②海の仕事学ぶ<TRITON SCHOOL>

・漁業に興味がある人を受け入れ、体験研修を実施している。

#### ③海を知り、海の仕事を探す<TRITON JOB>

・海の仕事や浜での暮らし、働き方を知るための水産業特化型求人サイトとして掲載している。

#### ④漁師と若者をつなぐ<TEAM TRITON>

・問い合わせ、マッチング、就業後のサポートを石巻市、フィッシャーマン・ジャパン、漁協が一丸となってサポートしている。

その他、さまざまなPR活動を実施しており、その中でも早起きサポート（フィッシャーマンコール）が一躍話題になっている。

## 5. 行政との連携について

・空き家対策、PR用DVDの作成、親方漁師・担い手と行政による『師匠サミット』の定期開催などを行っている。

### 【所感】

視察を通じて、これまでに無い新たな漁業の在り方を勉強できた。

市政に活かせること (まとめ)	<p>本市はタコ漁を主体としているが、年々漁獲量が減少しており、現在では禁漁期間を設けて資源の確保を試みたり、タコの缶詰など6次産業化の推進もしながら漁業の継続に向けて取り組んでいる。ただ、これからはそれらの事業を継続できるよう担い手の確保と育成に取り組むことが必要であり、行政と漁業組合だけでは解決できないことは、フィッシャーマン・ジャパンのような漁業者育成の専門的な団体を仲介することで、解決を図れる可能性があるのではないかと期待する。</p>
--------------------	--

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。

2 実施概要 (2カ所目)

実施日時	派遣先	宮城県石巻市 石巻市防災センター																	
令和4年11月09日 10:00~12:00	担当部局	復興企画部 復興推進課 教育委員会 学校安全推進課																	
報告内容・所感	【報告内容】																		
	1. 被災状況について																		
	(1) 被害状況 ・死者 3,188 名 (人口対比 1.3%) ・行方不明者 414 名 (人口対比 0.3%)																		
	(2) 浸水面積																		
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">単位: km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>全国</th> <th>宮城県</th> <th>石巻市</th> </tr> <tr> <td>浸水面積</td> <td>561</td> <td>327</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>市区町村面積</td> <td>12,382</td> <td>2,003</td> <td>556</td> </tr> </table>				単位: km <sup>2</sup>			区分	全国	宮城県	石巻市	浸水面積	561	327	73	市区町村面積	12,382	2,003	556
		単位: km <sup>2</sup>																	
	区分	全国	宮城県	石巻市															
	浸水面積	561	327	73															
	市区町村面積	12,382	2,003	556															
	(3) 被災住家棟数																		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>区分</th> <th>被害棟数</th> </tr> <tr> <td>被災住家合計</td> <td>56,708 棟</td> </tr> </table>			区分	被害棟数	被災住家合計	56,708 棟													
区分	被害棟数																		
被災住家合計	56,708 棟																		
2. 復旧、復興の取り組みについて																			
(1) 復旧対応 ・ガレキの撤去など (2) 復興への歩み ・建築制限 … 復興推進地域、災害危険区域の決定 ・震災復興計画の策定 ①災害に強いまちづくり ②産業・経済の再生 ③絆と協働の共鳴社会づくり ・住民への対応 … 各種アンケート, 復興事業説明会, 意見交換会など																			
3. 学校の防災教育について																			
(1) 平成24年2月に石巻市学校防災推進会議を設置 ・防災研修 (年4回) … 防災主任研修会, 学校防災フォーラム, 復興・防災マップづくり, コンクールなど ・防災管理 … 地域防災連絡会の活動推進と状況調査, 学校安全マニュアルの点検、改善指導, 大川小学校事故検証報告書24の提言に関する取り組み状況調査など ・防災教育 … 防災教育副読本活用, 防災合言葉コンクール実施など ・避難訓練学校訪問 … 幼稚園, こども園, 小中学校の避難訓練に学校安																			

	<p>全推進課長、指導主事が訪問し、訓練状況を把握して良い点の評価、改善点への指導助言を行う。</p> <p>(2) 平成26年4月に学校安全推進課を設置</p> <p>4. 防災センターの現地視察</p> <p>◆平成30年5月31日より運用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地面積 1251.54平方メートル</li> <li>・延べ面積 1791.06平方メートル</li> <li>・建築面積 768.34平方メートル</li> <li>・本体構造 鉄筋コンクリート造3階建(中間免震構造)</li> <li>1F … 資機材庫</li> <li>2F … 備蓄倉庫, 会議室, 多目的ホール</li> <li>3F … 防災研修ルーム, シュミレーション室, 管理室, 無線室</li> </ul> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の復興事業 … 被災者の心身ケア, 生きがいづくりによる「心の復興」やコミュニティ形成促進などの支援</li> <li>・防災基本条例 … 後世の人々に震災の記憶と防災の大切さを伝承し、世界各国における防災への取組に貢献していくため制定された。</li> </ul> <p>【所感】</p> <p>震災から10年が経過し、復旧・復興は概ね完了してきている印象を受けた。また、防災意識はかなり高く、学校を軸に地域と連携した活動を展開していると感じた。</p>
<p>市政に活かせること(まとめ)</p>	<p>本市においては、地域によって防災意識にかなり濃淡がある。石巻市でも津波に対する防災意識は沿岸部と内陸部で濃淡があるが、平時における防災活動の成果もあり、例えば被害が少ないと想定される内陸部の方々と被害が大きいと想定される沿岸部の方々がお互い協力できる体制を整えられている。このことは平時の活動がいかに防災・減災対策の意識向上に繋がるかを示しており、本市においても活かせるのではないかと考える。また、石巻市で取り組んでいる学校防災を取り入れることができれば、家族を中心に地域防災の更なる意識向上が図れるのではないかと期待する。</p>

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。

2 実施概要 (3カ所目)

実施日時	派遣先	東京都/国会議事堂
令和4年11月10日 10:00~13:00	担当部局	国会議員事務所
報告内容・所感	<p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県選出の国会議員事務所を訪問し、本市が抱えている課題解決に向けて、各種要望書を届けた。</li> <li>◆各事業の促進に必要な財源の確保を依頼</li> <li>① 福山本郷道路の整備 … 定時性の確保が困難な道路の整備</li> <li>② 港湾整備事業 … 放置艇の解消</li> <li>③ 港湾海岸保全事業 … 高潮対策における護岸整備</li> <li>④ 都市計画道路 宮浦西野線 … 狭隘区間や線形不良の解消</li> <li>⑤ 東本通土地地区画整理事業 … 地区の一体的な整備</li> </ul>	
市政に活かせること(まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業において、事業の促進が図れることを期待する。</li> </ul>	

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。